

# 基盤整備実施地区における多様な 農業経営育成の事例

---

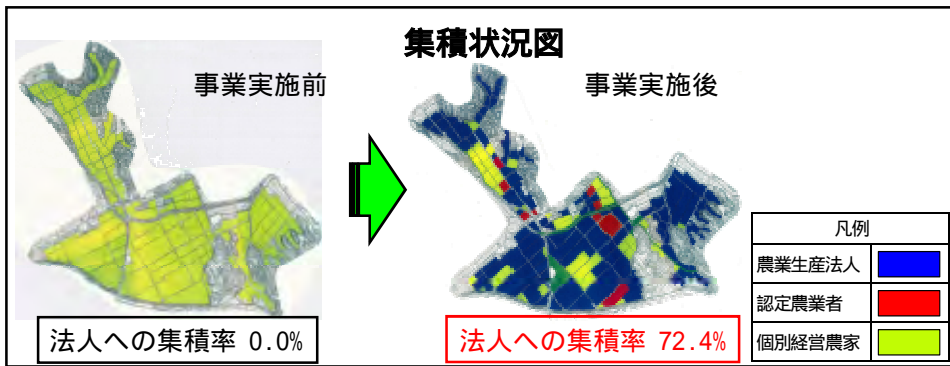
# 基盤整備による「意欲ある多様な農業経営」の育成

## 【事例】農業生産法人による一農場方式での大規模農業経営【宇賀荘第1、第2地区(島根県)】

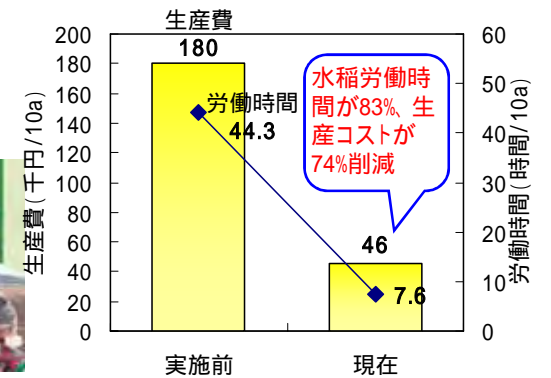
大区画化ほ場整備により大型機械化体系を導入し、省力・低コスト生産を実現。水稲、大豆を中心とした13集落1農場方式での大規模営農体系を確立。  
併せて、地下かんがいを導入し、乾田直播による稲作の省力化や野菜・麦・大豆等の作物生産を推進。  
安来市特産のどじょうが住む水田で栽培した米のブランド化に取り組む等、特色ある米作りを推進。

経営体育成基盤整備事業[宇賀荘第一、第二地区]  
 関係市:島根県安来市  
 事業期間:H12~19年度  
 受益面積:238ha(区画整理、暗渠排水、排水路)  
 農業経営のタイプ:組織経営展開型

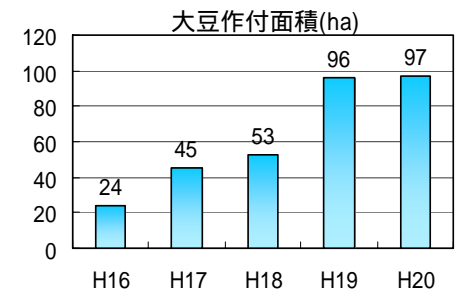
地区の7割(173ha、組合員242人分)を1つの農業生産法人に集積



### 水田の大区画化による作業の効率化・経費の節減



大規模な大豆の栽培



### 無農薬・減農薬栽培など特色ある米作りの推進



(左)冬季湛水による白鳥の飛来状況  
 (右)特別栽培米を使用した純米酒を醸造



## 【事例】個別経営体による大規模経営【釜淵地区(山形県)】

水田の大区画化と併せて、5名の担い手農家に地区の約8割の農地を集積し、生産性の向上と営農経費の節減を実現。水田の汎用化により、大豆・枝豆の団地化栽培を推進。大豆においては、豆腐製造業者との契約栽培を行う等産地づくりの取り組みを推進。

ほ場整備事業(担い手育成型・区画整理型)

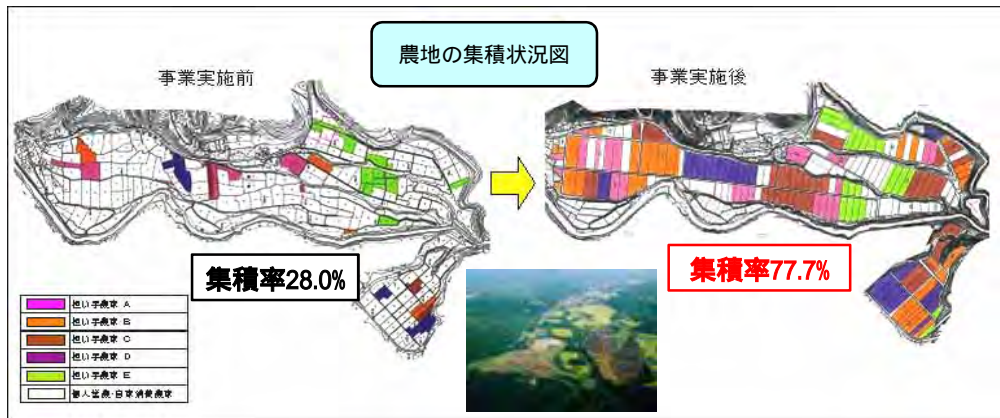
関係市:山形県最上郡真室川町

事業期間:H12~19年度

受益面積:56.8ha(区画整理、暗渠排水、農業用排水施設)

農業経営のタイプ:個別経営型

地区の約8割の農地を5名の担い手農家に集積



地区全景(着工前)



整備完了後



水田の汎用化による複合経営への取り組み



大豆作付状況(権現堂農家8.5ha)



大豆作付状況



契約栽培された大豆を使用した豆腐等



新たに導入した「枝豆収穫機」  
作業の効率化が図られた



大型機械の導入が可能となった

事業を契機とした地域における環境保全の取り組み



梅花藻が自生する幹線用水路「釜淵堰」



地域住民の直営施工で玉石積水路に改修(梅花藻移植)



改修された釜淵堰

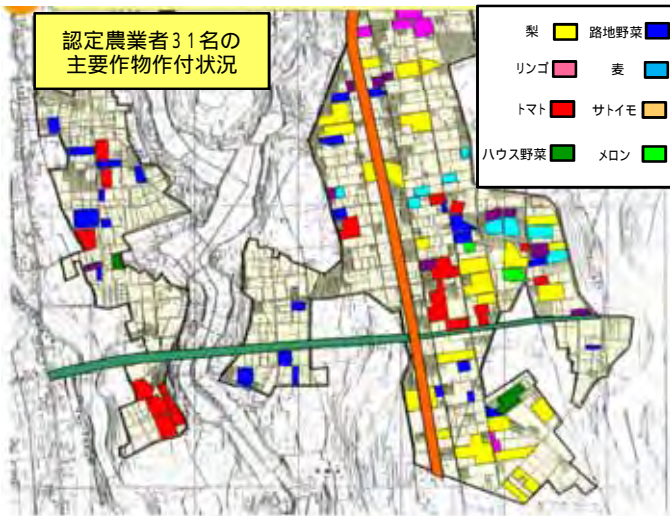
国・県営畑地かんがい施設の整備を契機として、ハウスマト、なす、さといも等の高収益作物の導入と計画的生産による生産性の高い畑作営農を実現。

約200haの地区内で282戸の農家が野菜・果樹等多様な作物を栽培。

全受益農家が参画し、「清原南部明るいむらづくり推進会議」を設立。大手スーパー等との契約栽培や直売所を通じた販路開拓、観光農園等による都市と農村の交流等の多様な取り組みを推進。

県営畑地帯総合整備事業  
 関係市：栃木県宇都宮市  
 事業期間：H2～H19年度  
 受益面積：196ha(区画整理、農業用排水、農道)

農業用水の安定供給により多様な作物導入が可能に



・地区内に31名の認定農業者。  
 ・主な作物は、なし、りんご等の果樹の他、施設トマト、キャベツ、はくさい等。  
 ・多様な作物導入が可能となり、若い農業後継者が増加。

基盤整備を契機とした地域づくりの取り組み

